

平成30年度第3回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録

日時：平成31年2月27日（水）午後7時45分

場所：市役所庁舎 10階 第5B会議室

□会議次第

1. 開 会

2. 会 議

- (1) 平成30年度第2回障害者支援部会の会議録確認
- (2) 第二期帯広市障害者計画の評価について
- (3) 平成31年度帯広市障害福祉関係予算及び主要事業について
- (4) その他

3. 閉 会

□配布資料

- 資料1 平成30年度第2回会議録
- 資料2 第二期帯広市障害者計画 施策進捗状況総括表
- 資料3 平成31年度帯広市障害福祉予算の概要
- 資料4 平成31年度帯広市障害福祉予算主要事業

□出席委員（7名）

細川吉博委員、畑中三岐子委員、古澤慎二委員、江口聡委員、山本由美子専門委員、
白木喜子専門委員、坂村堅二専門委員

□欠席委員（3名）

田中利和委員、眞田清専門委員、丸山芳孝専門委員

□事務局

- ・ 障害福祉課
荒直幸課長、山本栄治福祉司、板倉智幸課長補佐、尾上裕子計画推進係長、小室智史主任
- ・ 子育て支援課
遠藤恵子課長補佐、林健太郎おやこ相談係長

平成30年度第3回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会

【1. 開会】

事務局

ただいまから平成30年度第3回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会に入りたいと思います。本日は、障害者支援部会委員10名中、7名の出席を頂いており、本日の会議は成立していますことをご報告致します。次に、本日の議題についてですが、会議次第の通り予定しております。まず、本日の資料について確認させていただきます。事前に郵送させて頂いていますが、お持ちでない方がいらっしゃいましたらお知らせ下さい。資料1、平成30年度第2回障害者支援部会会議録、資料2、第二期帯広市障害者計画施策進捗状況総括表、資料3、平成31年度障害福祉予算の概要、資料4、主要事業、以上でございますが不足している方がいらっしゃいましたらお知らせ下さい。よろしいですか。大丈夫ですか。はい。それではここからの議事の進行を部会長、よろしくお願い致します。

【2. 会議】

(1) 平成30年度第2回障害者支援部会の会議録確認

部会長

それでは、会議に入らせて頂きます。初めに議題(1)議事録の確認についてであります。前回の会議の議事録をご確認頂きたいと思っております。なお、この議事録はこの場でご確認頂いた後、市のホームページにて公開される予定となっております。会議録につきまして訂正箇所、ご質問、またご意見などございますか。よろしいですか。なければ、ご承認頂いたと確認致しましたので、そのように公開させていただきます。

(2) 第二期帯広市障害者計画の評価について

部会長

続きまして議題(2)第二期帯広市障害者計画の評価について議題と致します。事務局よりご説明をお願い致します。

事務局

それでは、第二期帯広市障害者計画の評価につきまして、資料2に基づいて説明させて頂きたいと思っております。この計画は障害者基本法第11条の規定に基づきまして、障害のある人に関する施策を総合的に推進するための基本計画として、平成22年度から31年度までの10年間の計画期間を基本として策定してございます。また、第六期帯広市総合計画の分野計画としての位置づけでもございます。

表紙の1ページ目の総括表をご覧下さい。上に計画の目標として3つの基本視点を掲げて、またさらに8つの施策の展開方向を設けております。各施策の展開方向につきましては、それぞれ3つないし4つの施策を設けて、合計27の施策を設定してございます。今回、その施策ごとに平成29年度の実績及び進捗状況を確認し、評価した結果を総合評価として記載してございます。

また、下段の表につきましては、今回の評価結果と前年度の評価結果を比較した表となっております。評価につきましては、順調に進んでいるをAから順に、進んでいないをDと評価してございます。今年度的评价につきましては下段の评价結果に記載の通り、全体27施策のうちAが16、Bが11、CとDにつきましてはございませんでした。なお、総合评价の結果については、前年度と同様の评价となっております。

めくって2ページ目をご覧ください。個別施策各課対応表をご覧ください。27ある施策ごとに、さらに2つないし6つの個別施策がありまして、関係する担当課において评价の協力を得た上で各施策の総合评价をしてございます。また、それぞれの评价について昨年度の対比もさせて頂いております。変化があった個別の施策についてのみご説明させて頂きませんが、3ページの中ほどの施策の「3. 保健医療の充実」がございまして、個別施策の(3)でございまして、こちらについて、今年度がん検診の平均受診率が目標値を上回ったことによりまして、昨年度のBからAへと评价しています。

次に7ページ目をご覧ください。施策评价表でございまして、27の施策それぞれに1ページずつ施策评价表を作成してございまして、ちょうど上段、「1. 施策の取り組み内容」の欄に個別の施策ごとのこれまでの取り組みについて具体的に記載してございまして、中段よりやや下の施策の评价の欄には、「2. 施策の评价」を記述してございまして、AからDまでの评价をしてございます。現状の課題や今後の施策の進め方などにつきまして、最後の「3. 課題と今後の取り組み方向」の欄に記載してございまして、以下27の施策分について8ページから34ページまで記載してございまして、時間の都合もございまして全てはご説明できませんけれど、施策の展開の方向ごとに大きくまとめて取り組みについて簡単にご説明させて頂きます。

ご覧の7ページから9ページにかけては、「理解と交流の促進」について記載してございまして、障害者週間における事業や、市民活動プラザ六中での事業の実施、またヘルプマークの配布の開始など、障害者理解に努めてきたところでございまして。

次に10ページ目から13ページ目にかけては、「暮らしやすいまちづくりの推進」について記載してございまして。こちらについては手話の出前講座の実施による手話への関心や合理的配慮についての考え方の普及、また障害のある人の意見の反映として、本日の健康生活支援審議会の障害者支援部会の開催を始め、帯広市地域自立支援協議会における各会議の開催、また市長の手紙や地区懇談会で出された意見など様々な場面において意見の聴取を行ってございまして。

14ページから16ページにかけては、「生活支援の充実」について記載してございまして。障害のある人の生活を支援するために、個別のニーズに合わせて必要なサービスが受けられるように、提供体制の充実やサービスを提供する事業所の支援員の資質の向上に取り組んできました。また先ほど、がん検診の平均受診率が目標値を上回ったとお話をさせて頂きましたが、そのことに加えまして、自殺予防の普及啓発として自殺対策計画の策定や、生きるを支える連携会議の設置などに取り組んできたところであります。

次に17ページから20ページにかけては、「相談支援と情報提供の充実」について記載してございまして。こちらについては関係機関との連携による相談体制の充実や、基幹相談支援センターを中心とした相談支援専門員の資質向上を図るための研修会の実施、また障害福祉地域ガイドのささえーの発行によりまして情報発信に取り組んできたところであります。

次に21ページから23ページにかけては、「療育・教育の充実」について記載しております。発達障害を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を行うために、こども地域生活支援会議の開催によります関係機関との連携や情報交流、学校における特別支援教育の体制整備に取り組んできたところであります。

次に24ページから26ページにかけては、「生活環境の整備促進」について記載しております。こちらについてはユニバーサル・デザインの推進によります住環境の充実を図ると共に、災害時の支援など具体的な支援について庁内、関係課との協議や関係機関などの協議を行ってきました。

27ページから29ページにかけまして、「社会参加と地域生活支援の充実」について記載しております。様々な文化やスポーツに気軽に参加できる環境づくりに努めてきたほか、日常生活のための各種訓練や社会参加のための移動にかかる支援や助成について継続的に実施してきました。

最後になりますが、30ページから33ページにかけて「就労支援と日中活動の充実」について記載しております。就労支援のための職場体験や優先調達への取り組みを始め、ハローワークや障害者就業・生活支援センターと連携して、一般企業の障害者雇用に対する理解と就労定着支援を行ってきました。

概要・説明については以上でございますが、この第二期帯広市障害者計画につきましては、冒頭申し上げた通り、計画期間を平成31年度までの10年間としておりまして、4月以降の新年度、次期計画策定に向けた作業を本格化させて参りたいと考えております。すでに障害のある方を含めて、1,000名規模のアンケート調査を実施しておりまして、回収率については46.8%でございます。現在、その集計または分析作業を進めております。今後、この部会において種々ご説明をさせて頂き、皆様の意見を伺っていく予定としておりますので、新年度以降のこの部会の中で是非ご協力の程よろしくお願ひしたいと思ひます。資料の説明については以上でございます。

部会長

はい、ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、何か皆様方からご質問、ご意見等ございますか。はい、どうぞ。

委員

5ページに「防災・防犯体制の整備」という項目がありまして、唯一、ここの項目において前回、また今回もCの評価がついているところが2か所あるかと思ひます。多分、大変ご苦労されていると思ひますが、なかなかBの評価にならないのはどのように分析されているのかお聞きしたいと思ひます。26ページに具体的に書かれてあるのですが、評価がCを継続されているというのは、皆さん色々苦労されて取り組んでいらっしゃることで何が難しいのかをお聞きしたいと思ひます。

事務局

こちらの(1)が民生委員、社会福祉協議会、町内会など各種団体との連携を含めた支援体制づくりというところなのですけれど、こちらにつきましては、災害時の要援護者支援のための登

録制度を設けて行っています。登録者数については総務課で取りまとめているのですが、29年度の段階では2,500人ぐらいの登録を頂いています。その後、要援護者の個別計画作成協議会で議論して頂いて、最終的には登録した方の個別計画として様々な個人に応じた計画を作成していくのですが、実際のところ、最終的に個別計画の策定に至っている人数がその1割程度の275人なのです。

この要因として、個別計画作成協議会の設置がまだまだなされていないのも課題にございまして、災害時要援護者登録は頂いているものの個別計画作成になかなか至っていないのが評価として低く、進んでいないという評価結果となっております。今お話しした個別計画の作成の進捗状況なのですが、29年度は登録者数も増えてきていますが計画として作成されたのは1割程度で、その前年度も13%、その前の年で11.8%なので3年間通じて1割程度からまだ伸びていません。登録される方については2,500名から3,000名近くいらっしゃるのですが、実際の個別計画まで到達できていないところが課題として認識してございます。そういうところでC評価になっていると思っています。

部会長

はい。よろしいですか。他にございますか。はい、どうぞ。

委員

(6)についてもCの評価がなされているので、苦勞されている点を伺いたいと思います。

事務局

こちらについては細かいところまで押さえていません。26ページに記載がある通り、災害時における福祉用具等の優先供給に関する協定を締結するというところで、事業者間との関係性についてもう少し求めるところを目標として持っているものですから、そういうところで進み具合が思ったほど進んでいないことになろうかと評価しています。

部会長

他にございますか。私から1つお伺いしたいことがあります。(5)です。まず、スマートフォンなどモバイルナビを使うのはこれからの時代いいと思います。GPS機能を使えば位置情報を検索できるなどということはあるんですけど、今どのくらいの方が登録されているのかということです。これは、あくまでその人の持っている端末に対してダウンロードをしてもらって行う話でしょうか。それとも例えば人によっては端末を貸したり、与えたりなどはあるのでしょうか。

事務局

そこまでの資料は手持ちで持っていないので申し訳ないです。

部会長

災害伝言ダイヤルなど色々ありますけれど、現実問題として災害時は家庭電話などが使えなく

なりますし、携帯電話も使えない中で、本当にそういうものが活かし切れるのかといたらなかなか災害時は厳しいなと思うものですから、こういう方向性に行くのはいいことだと思います。1つのツールとして進めて頂ければありがたいなと思います。その辺のところ、皆さんが皆さんiPhoneを持っている訳ではありませんので、何らかの形で皆さんが持てるようになればいいなと思うので、ご検討頂ければと思います。他にございますか。よろしいですか。なければ、本件につきましては以上とさせていただきます。

(3) 平成31年度帯広市障害福祉関係予算及び主要事業について

部会長

続きまして、議題の(3)です。平成31年度の帯広市障害福祉関係予算及び主要事業について議題と致します。事務局よりご説明をお願い致します。

事務局

それでは私から平成31年度障害福祉予算の概要につきまして、資料3に基づき説明させていただきます。

平成31年度障害福祉関係予算につきましては63億7,666万4千円で、民生費総額が317億9,553万8千円の20.06%を占めてございます。前年度12月補正予算後の額62億8,222万6千円に対しまして、9,443万8千円の増となっております。予算の計上にあたりましては、これまでの実績に基づき、平成30年度の決算見込みと同程度の水準でのサービス量を確保すると共に自立支援給付費につきましては、サービス利用者の伸びを考慮しております。また、平成31年度が策定年となっております第三期帯広市障害者計画の策定にかかる経費等を見込んでおります。更には、ヘルプマークの活用により障害者理解を促進すると共に、手話言語条例に定める施策として手話通訳者派遣事業等を引き続き実施し、障害者の社会参加促進の推進により地域の福祉向上を図って参ります。

下の表の見方ですが、事業名が左側の方に縦に並んでおります。そのすぐ右側に平成30年度当初予算①という数字がございます。この障害者福祉費が上の大きな表を占めていまして、下の小さな表に重度心身障害者医療給付費がございます。この2つの大きな括りを合計しまして61億39万9千円が当初予算でございました。それに対しまして次に、その右側になります平成30年度最終予算(予定)②がございます。これが補正後の額になります1億8,182万7千円、約2億円弱の金額を12月に補正してございます。表では事業名の白丸の上から2番目になります障害者自立支援給付費がございます。この事業の内訳に更に小さな丸ポツで3つございますうち1番目の障害者自立支援給付費、この数字が①の欄と②の欄とで増えており、この部分が補正しているところでございます。

この自立支援給付費といいますのは、就労支援事業ですとか、生活介護、グループホームといった障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、豊かで自立した生活を支援する事業となります。相談支援体制の充実に伴いまして、きめ細やかな相談を受けることでサービスに繋がっている部分と、またサービスを必要とする障害の方が増えていること、また日中に地域で社会生活できる場や環境が整ってきたことにより、サービス利用が伸びておりま

して補正が必要となった状況でございます。

平成31年度予算につきましてはこの補正額を含めると、2億弱の補正額と先ほど9,400万の補正予算後の予算対比増と説明致しましたが、合わせて3億近くの金額が平成30年度当初予算に対して伸びたこととなります。事業の細かな中身につきましては、昨年11月の通常部会で決算として細かい主要な施策の成果などを説明してございます。

平成31年度予算につきましては、障害福祉関係の制度改正もなく前年度と大きく変わった点はありませんが、何点か説明したいと思っております。

まず、ヘルプマークの普及でございます。ヘルプマークとは皆様ご存知かとも思いますが、義足や人工関節を使用していたり、内部障害や難病があったり、妊娠初期であったり、外見からは分かりにくい方が身に着けることで、日常生活や災害時に援助や配慮を必要としていることを示すマークになります。帯広市では平成30年1月4日から配布を開始し、平成31年1月末までに513枚を配布しております。ヘルプマークの普及につきましてはマークの配布も重要ですが、どれだけ市民に対して認知度を上げるかが重要でございます。来年度、啓発用ポスターを作成致しまして公共交通機関であるバスなどに掲示することで、周知していく予定となっております。

次は資料4になります。先ほどお話がありましたけれど、次期総合計画と個別計画の策定ということになります。総合計画自体が平成31年度から10年間を計画期間として、新しい計画を作る予定でございます。この総合計画の個別計画と致しまして位置づけられております先ほどの評価の中でもお話がありました。次期の障害者計画の本格的な策定作業が始まります。計画の策定にあたっては、視覚に障害のある方のための点字翻訳版の作成や、計画書の印刷製本に要する経費を計上しております。今後、今年度を実施致しましたアンケート調査の結果や皆様方のご意見を頂きながらパブリックコメントを実施した上で、国や北海道の計画を基本として総合計画や帯広市障害福祉計画など、帯広市の計画と整合性を図りながら策定を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。説明につきましては以上でございます。

部会長

はい、ありがとうございます。ただいまの平成31年度帯広市障害福祉関係予算及び主要事業に関しまして何かご質問とご意見ございますか。いかがですか。自立支援の給付費が上がったということは、グループホームを利用する人が増えたということでしょうか。それだけではないのですか。

事務局

先ほどもお話し致しましたけれど、相談体制が充実したことにより、そこからサービスに繋がっている方が増えているのと、説明の中ではお話ししませんでした。知的や精神障害のある方がこちらのグループホームや就労支援関係などの事業に多く繋がっているのが増となっていると分析しているところでございます。

部会長

はい、ありがとうございます。他に皆様方からございませぬか。よろしいですか。それでは本

件につきましては以上で終わらせて頂きます。

(4) その他

部会長

続きまして(4)その他につきまして議題とさせていただきます。事務局から何かございましたらお願い致します。

事務局

今後の部会の予定ということでお話させて頂きたいと思います。先ほど今後の次期計画に向けた議論でご意見等を賜りたいとお話しさせて頂きましたが、現在新年度の計画に関して健康生活支援審議会、親会との連動を考えておまして、案内を改めて出させて頂きますが、5月・8月・11月に皆様への情報提供なども含めて、そういった時期に開催してご意見などを賜りたいと思っております。日程が決まりましたらまた改めてご案内させて頂きたいと思います。その他としては以上でございます。

部会長

はい、ありがとうございます。議題は以上で全て終わりましたが、せっかくの機会ですし皆様方から何かご意見等ございましたらこの場でお願いしたいと思います。何かございませんか。

【3. 閉会】

部会長

それでは以上をもちまして、本日の障害者支援部会を閉会したいと思います。先ほども事務局から出ましたが、次回の部会につきましては日程が決まりましたらご案内させていただきます。本日はお忙しい中、誠に夜遅くまでお疲れ様でございました。どうもありがとうございます。